

問1 日本とアメリカ合衆国の農業を比較した際、アメリカの農家1人あたりの農地面積は約170ヘクタールと日本の約45倍に達しています。このような広大な農地で行われるアメリカの農業経営の特色を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)

1. 都市近郊の狭い土地を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて付加価値の高い作物を育てる農業経営
2. 広大な土地に大型機械やかんがい施設を導入し、少ない労働力で効率よく生産を行う大規模な農業経営
3. 家族中心の少人数で、複数の作物を少しずつ栽培することで自給自足を目指す小規模な農業経営
4. 限られた平地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大限に高める労働集約的な農業経営

問2 国会における予算案の審議において、衆議院と参議院の議決が異なった場合の扱いについて述べた文として、憲法の規定に照らして正しいものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 最高裁判所が憲法判断を行い、どちらの議決が妥当かを決定する。
2. 内閣が両議院の意見を調整し、最終的な予算案を決定する。
3. 参議院の議決を優先し、衆議院は再度審議を行わなければならない。
4. 両院協議会を開いても意見が一致しないときは、衆議院の議決を国会の議決とする。

問3 日本のような中緯度の大陸東岸で見られる、夏と冬で吹く方向が反対になる風を何といいますか。この風は、冬はシベリア大陸から、夏は太平洋から吹き、日本の気候に大きな影響を与えます。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 海陸風
2. 貿易風
3. 季節風
4. 偏西風

問4 長野県などの高冷地では、レタスの収穫時期をあえて6月から10月の夏季に集中させています。平地の収穫量が減少するこの時期に出荷時期をずらす最大の目的として、最も適切な説明はどれか、選びなさい。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)

1. 大都市に近い利点を活かし、輸送コストを抑えて新鮮なうちに届けるため
2. 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため
3. 冬の積雪による農作業の停止を防ぎ、年間通じて安定した収入を得るため
4. 化学肥料の使用を抑えた環境に優しい農法をアピールするため

問5 日本の瀬戸内地方において、年間を通じて降水量が少なく、乾燥した晴天の日が多い理由として、地形と風の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

1. 夏は四国山地、冬は中国山地によって、湿り気を含んだ季節風が遮られるため
2. 夏に小笠原高気圧から吹き出す貿易風が、四国山地を越えて乾いた風になるため
3. 冬に北から吹く冷たい季節風が、日本海を渡る際に水分をすべて失ってしまうため
4. 一年中、大陸から吹きつける偏西風が、中国山地を越える際に雨を降らせるため

問6 1980年代後半から続いた好景気が、1991年ごろに終わりを迎えた際、土地や株式の価格が急激に下がり、その後の日本経済が長期間の停滞に陥った現象を何と呼びますか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)

1. 第1次石油危機
2. 円高不況
3. 世界金融危機（リーマン・ショック）
4. バブル経済の崩壊

問7 明治時代の政治家について述べた以下の条件のうち、「岩倉使節団に参加している」「大日本帝国憲法が発布されるより前に政党を結成していない」「初代内閣総理大臣に就任している」のすべてを満たす人物の事績として適切なものを選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)

1. 土佐藩出身で自由民権運動を指導し、日本最初の政党である自由党を結成して国会の開設を政府に求めた。
2. 木戸孝允の随行人員として欧米を視察し、後にヨーロッパで憲法を学び、政府側で官僚機構や憲法の整備を主導した。
3. 参議として政府の中枢にいたが、明治十四年の政変で政府を去り、立憲改進黨を結成してイギリス風の議院内閣制を主張した。
4. 薩摩藩出身の実力者として使節団に参加したが、帰国後は内政の充実に努め、内閣制度が整う前に暗殺された。

問8 江戸幕府は1825年に強硬な排外政策を打ち出しましたが、1840年に勃発したアヘン戦争の結果、清がイギリスに敗北したことを知ると、その方針を大きく転換しました。このとき、幕府が新たに取った対応として正しい説明はどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

1. アメリカのペリー来航を機に、即座に幕府の独占的な貿易を廃止して自由貿易を開始した
2. 清の敗北を教訓に、オランダ以外のヨーロッパ諸国とも正式な国交を結ぶことを決定した
3. 遭難した外国船に燃料や水、食料を与えて糧やかに退去させる「薪水給与令」を出した
4. 沿岸の警備をさらに強化し、全ての外国船を沈めるまで攻撃を続けるよう命じた

問9 地元で生産された農林水産物を、その地域の中で消費する「地産地消」という取り組みによって期待される効果として、最も適切なものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)

1. 必要な農作物をすべて自分たちで生産し、外部からの購入を一切行わないことで、食料の自給率を極限まで高める。
2. 気候や土壌などの自然環境に合わせ、最も適した作物を大規模に生産し、全国的な供給を安定させる。
3. 輸送距離が短くなるため、鮮度の高い食材を消費者に届けられるとともに、二酸化炭素の排出を抑えられる。
4. 海外からの安価な農産物の輸入を完全に停止し、国内の農家を保護することで食料自給率の向上を図る。

問10 1866年に結ばれた薩長同盟の背景について、当時の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

1. 桜田門外の変による大老の暗殺後、幕府の権威を回復させるために公家と武家の連携を強めることを目的とした。
2. 幕府から朝敵とされ武器の調達が困難だった長州藩に対し、薩摩藩が名義を貸して最新の武器を購入させた。
3. 日米修好通商条約の締結を不服とした両藩が、朝廷の許可なく幕府を攻撃するために軍事協定を結んだ。
4. 生麦事件の結果として起きた薩英戦争に敗れた薩摩藩が、イギリスとの和平交渉を有利に進めるため長州藩に協力を求めた。

問11 1919年にドイツで制定され、世界で初めて「生存権」などの社会権を憲法に明記したことで知られる、現代の人権保障の考え方に大きな影響を与えた憲法を何といいますか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)

1. 日本国憲法
2. ワイマール憲法
3. フランス人権宣言
4. アメリカ合衆国憲法

問12 主要先進国の労働環境を比較したとき、1985年時点で日本や米国よりも年間労働時間が短く、2020年にかけてさらにその時間を減少させている国があります。このような国々が、仕事と生活の調和を図り、個人の生活を充実させるために重視している考え方を何といいますか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)

1. ワークライフバランス
2. 成果主義
3. 終身雇用
4. ワークシェアリング

答え合わせ・解説

問1	答え 2 広大な土地に大型機械やかんがい施設を導入し、少ない労働力で効率よく生産を行う大規模な農業経営	アメリカ合衆国では、1戸あたりの農地面積が極めて広いため、飛行機による種まきや大型機械の導入、さらにはセンターピボットのような大型のかんがい施設を活用することで、人手をかけずに大量の作物を生産する「企業的な農業」が行われています。これに対し、日本のように限られた土地に多くの手間をかける方式は労働集約的と呼ばれ、アメリカの方式とは対照的です。
問2	答え 4 両院協議会を開いても意見が一致しないときは、衆議院の議決を国会の議決とする。	日本の国会では、予算の議決、条約の承認、内閣総理大臣の指名について、衆議院の議決が参議院に優先する「衆議院の優越」が認められています。予算の場合、両議院の議決が異なるときは必ず両院協議会を開かなければなりませんが、そこでも意見が一致しない場合は、衆議院の議決がそのまま国会の議決となります。これは、予算が国民生活に直結する重要なものであるため、速やかな成立を図る必要があるからです。
問3	答え 3 季節風	日本はユーラシア大陸の東側に位置しているため、大陸と海洋の温まりやすさの差によって生じる気圧の変化の影響を強く受けます。冬は大陸から冷たく乾燥した北西の風が、夏は太平洋から高温多湿な南東の風が吹くのが特徴です。
問4	答え 2 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため	夏の平地は気温が高すぎてレタスなどの生育に適しません。その時期に涼しい高原で栽培して出荷することで、市場に出回る量が少ない「品薄」の状態を狙い、有利な価格で取引することを目的としています。これを「抑制栽培」と呼びます。
問5	答え 1 夏は四国山地、冬は中国山地によって、湿り気を含んだ季節風が遮られるため	季節風は高い山地を越える際、風上の斜面で雨や雪を降らせるため、山を越えた後には乾燥した空気となります。瀬戸内地方は北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれているため、夏と冬どちらの季節風も山地によって湿り気が遮られ、降水量が少なく乾燥した気候になります。
問6	答え 4 バブル経済の崩壊	1980年代後半の日本では、投機的な動きによって実体経済とはかけ離れて地価や株価が高騰する「バブル経済」が発生しました。しかし、1991年ごろからこれらの資産価値が急落し、企業の倒産や銀行の不良債権問題が深刻化しました。これをバブル経済の崩壊と呼びます。
問7	答え 2 木戸孝允の随行員として欧米を視察し、後にヨーロッパで憲法を学び、政府側で官僚機構や憲法の整備を主導した。	伊藤博文は、板垣退助（自由党）や大隈重信（立憲改進党）などの野党勢力が政党を結成して民権運動を進めたのに対し、一貫して政府側の立場から近代的な国家機構の構築にあたりました。特に、君主権の強いドイツ流の憲法を学ぶことで、天皇を中心とした統治体制を整え、内閣総理大臣としてその運用を担いました。他の選択肢はそれぞれ板垣退助、大隈重信、大久保利通の事績を指しており、提示された3つの条件をすべて満たすことはできません。
問8	答え 3 遭難した外国船に燃料や水、食料を与えて穏やかに退去させる「薪水給与令」を出した	アヘン戦争で大国・清がイギリスの軍事力に圧倒された事実は、江戸幕府に大きな衝撃を与えました。強力な武力を持つ外国船をむやみに攻撃して戦争になることを恐れた幕府は、1842年に従来からの異国船打払令を廃止し、人道的な支援を行ってから穏便に帰国を促す薪水給与令（天保の薪水給与令）を出し、政策を緩和しました。
問9	答え 3 輸送距離が短くなるため、鮮度の高い食材を消費者に届けられるとともに、二酸化炭素の排出を抑えられる。	生産地と消費地が近いことで、輸送に伴うエネルギー消費（フードマイレージ）を削減でき、環境負荷を減らすことができます。また、収穫から消費までの時間が短いため、新鮮な農林水産物を供給できるほか、地域の農業の活性化や伝統的な食文化の継承にも役立っています。「気候や土壌に合わせて生産する」のは適地適作、「すべて自分たちで生産する」のは自給自足の説明であり、地産地消とは異なります。
問10	答え 2 幕府から朝敵とされ武器の調達が困難だった長州藩に対し、薩摩藩が名義を貸して最新の武器を購入させた。	長州藩は禁門の変（蛤御門の変）以降、幕府から討伐対象とされ、公式に武器を輸入することができない苦境に立たされていました。一方、薩摩藩は兵糧の不足に悩んでいました。坂本龍馬の仲介により、薩摩藩が武器の購入を代行し、長州藩が米を融通し合うといった実利的な協力関係が築かれたことが、強固な軍事同盟へと発展する要因となりました。
問11	答え 2 ワイマール憲法	産業革命後の経済発展とともに貧富の差や労働問題が深刻化したことを背景に、国家が人々の生活を保障しようとする「社会権」の考え方が生まれました。この権利を世界で最初に保障したのがドイツのワイマール憲法であり、それ以前の「自由権」を中心とした国家から、福祉を重視する国家への転換点となりました。
問12	答え 1 ワークライフバランス	フランスなどの先進諸国では、労働時間の短縮を通じて、仕事と私生活の調和を目指す「ワークライフバランス」の実現が推進されています。統計上、フランスは1980年代から日本や米国と比較して労働時間が短く、さらに2000年前後には「週35時間労働制」が導入されるなど、法的な整備も進んでいます。これにより、育児や趣味、休息のための時間を確保しやすい社会構造が作られています。